事業番号	05 03 05	事務事業シート(25年度実施事業分)		予算要求 □]予算案 ■点検		
事業名	臨床研修病院合同説明会等事業		担	部局	健康福祉部		
尹 未 つ		端外训修例院订问就切云守事未		課∙室	医療推進課医師確保対策室		
か入こむ 左	プロジェクト	4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト	当課	E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年 計画	施策の総合的展	gg 6-1 健康で長生きできる地域づくり					
1		3 医療従事者の養成・確保	実施期間		H22 ∼		
1 事業の概要							

目指す姿

県内の臨床研修指定病院等が合同で説明会を開催したり、県外の合同説明会に参加することで、一人でも多く県内で研修を実施する研修医を確保する。

成果目標:人口10万人当たり医療従事医師数 205人(H22) ⇒ 230人(H29)

現状

○新臨床研修制度導入以降、臨床研修を都市部の病院で実施する傾向があり、長野県内で臨床研修を実施する研修医を1人でも多く確保する必要がある。

○各県でも同様の説明会を実施するなど、臨床研修医の獲得競争が激しくなっている。

県が関与 する理由 県でなければ実施不可(その他)

【左記の説明、根拠法令等】 県内の臨床研修指定病院の合同参加により効果的なPRが可能となる。

地域医療再生計画において県事業として位置付け実施している。

県民との協働による実施: 困難 上小・上伊那地域医療再生計画

成果目標· 事業内容

事業内容

① 成果目標

- ○県内で臨床研修を実施する研修医の確保を図る。
- ○県内での臨床研修病院等合同説明会の開催、県外の説明会への合同参加により、長野県における臨床研修を効果的にPRする。

(単位:千円)

					(-	T-122. 1 1 17
項日	実施方法	H25事業実績		H25		H26
項目	夫旭カ伝			(当初)	(決算)	(当初)
1. 研修病院合同説明会参加 事業(病院参加分)	負担金	するための負担金の支出		14,000	21,518	14,000
2. 研修病院合同説明会参加 事業(長野県参加分)	負担金	民間会社が主催する医学生・研修医を対 同説明会に長野県ブースを出展するための支出		1,365	1,050	1,365
争耒(文野県参加刀)	直接	民間会社が主催する医学生・研修医を対 同説明会に出展する際に備品を借上	対象とした合	57	38	57
3. 長野県内での合同説明会開催	負担金	長野県医師臨床研修指定病院等連絡協する県内での合同説明会及び冊子作成の金の支出		330	50	330
4. 臨床研修医交流会の開催		県内病院に勤務する臨床研修医の交流会予定であったが、多数の臨床研修医が参え程の調整が困難であったため、H25は未実	加できる日	574	0	574
			合計	16,326	22,656	16,326

		区 分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度
	_	前 年 度 繰 越				
	予曾	当 初 予 算	15,790	16,364	16,326	16,326
事	算 額 	補 正 予 算			7,000	
業		合 計 (A)	15,790	16,364	23,326	16,326
*		国庫支出金			0	
П	Aの	県 債				
_	財源	その他(繰入金)	14,000	14,574	21,574	14,574
ス		一 般 財 源	1,790	1,790	1,752	1,752
۲		決 算 額(B)	15,645	15,398	22,656	
	概算	職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件	概算人件費(C)	1,652	1,652	1,652	1,652
	†	概 算 事 業 費(B(A)+C)	17,297	17,050	24,308	17,978
	•					

	成果目標の達成状況						
項目	H24末		H26				
投口	(実績)	目標	成果	成果 達成状況			
臨床研修 マッチ数	106人	115人	119人	達成	119		
県内合同説 明会参加者	50人	50人	69人	達成	١		
合同説明会県関係 ブース来訪者	_	ĺ	J	I	600		

目標に対する成果の状況

平成26年度に初期臨床研修が始まる者のマッチ数は119人と、前年度と比べて13人増加した。また、3月に信州大学で合同説明会を開催したところ、69人の参加が得られ、いずれも目標を達成できた。

2 今後の事業の方向性

今後、事業	□ 事業を実施しない		* 21. = 2 = 1. = 2 = 1.	
をどのよう にしていき	医師確保のためには、	- 県内で研修を実施する研修医を多	多数確保することが大切であり、引き続き合同説明会	- 等を通じて研修医の確保に
たいか。	努めていく。			